



1.望月さん(95歳)。300年以上前に建てられたと言う先祖から続く家に住んでいます。2.3.自宅脇の畑で様々な野菜を育てており、取材班も立派なレタスをお裾分けしてもらいました。

年に賤機地域包括支援センターを立ち上げた当初は、私たちの存在を知ってもらうことから始まりました。白鳥さんが住むような中山間地は特に、「見知らぬ人」を受け入れるハードルが高いんです。ほら、私たち事務服を着ているのでしょうか？保険の勧誘だと思われて警戒されたりもしました(笑)。しかし、いざと言うとき家族以外に助けを求められる「誰かの存在が必要だったんです」。実際、亡くなっていることに気付かれないほど孤立した場所に建つ家もあるのだそうです。金森さんたちは、町内の会合に入れてもらい、何度も話す機会を設けてきたと言います。かつての苦労を思い出しながら金森さんは続けます。「土砂崩れで道がふさがれ山道を歩いて帰ったことも、猿の群れに車を囲まれてしまったこともありました。それでも会いに行き続けていると「今日は午後から雪が降るから、午前中においで」と連絡をくれるようになります。本当に嬉しかったです」。ネットワークが築かれた今では民生委員の方の見守りや、保健センターと協力して年2回の自宅訪問をしているそうです。このネットワーク作りでは、地域住民だけでなくこうした医療機関・警察・ケアマネジャーなどの専門職との連

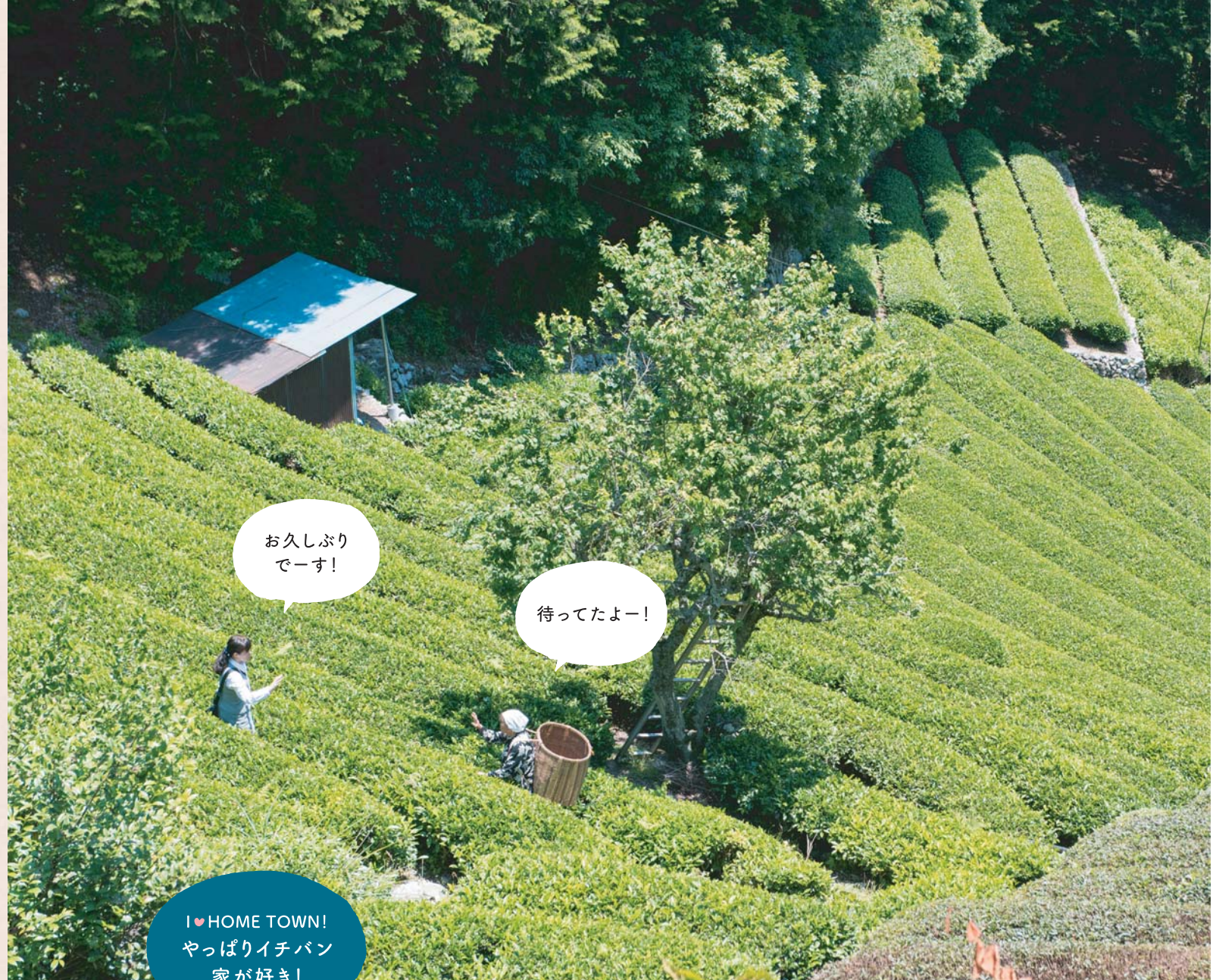
携も非常に大切だと言います。「問題はセンター内だけで抱え込まず、会議を開いて多職種で検討したり適切な方々へ繋いだりもします。繋いだらそれで終わりとしてしまうのではなく、必要があれば協力して一緒に動きます。皆さんが困った時にすぐに対応できるように、常にアンテナを張って有益な情報をキャッチすれば地域に還元しています」。まずは問題

解決の中心となり、次に築いたネットワークを駆使して中継し、補助に回ることを繰り返すのだと言います。「地域の声から問題を早期発見し、信頼関係のある方々をお願いするには、ネットワークを強く広く張り巡らせなければなりません。地域の皆さんが困ったときに、とっさに顔を思い浮かべてもらう人になること。それが私たちの使命です」。

わる地域すべての方の相談相手になることです。例えば介護保険の利用方法などの具体的な相談から、近所の高齢者が閉じこもりぎみで心配だというような声も拾い上げていきます。そしてすぐさま行動し、時には関係機関と連携して問題解決に当たります。2つ目は要支援1もしくは2と認定された方に介護予防

サービスを利用するためのプランを作成すること。また、そうでない方でも体力が落ちたと感じている方に対し、介護予防の体操教室や講演会をご紹介したりもします。3つ目は高齢者の権利を守る役目。介護に疲れた家族の心のケアなどを行い、負担を減らすための提案をしていきます。それにより虐待を防ぎ、高齢者

の権利を守ることに繋がっています。そして4つ目がポイントとなる「ネットワーク作りです」。「ずっと自宅で」を叶えるために。金森さんたち地域包括支援センターのスタッフは、頻繁に外に出て地域の方々と交流し信頼関係を築いているそうです。「平成18



生涯ずっと、自分の家で暮らすためには？

社会福祉法人楽寿会に聞く、「地域包括支援センター」の役割。

安倍街道エリアには賤機、安倍2つの「地域包括支援センター」が設置されています。そこには、高齢者が生涯自宅で自立して暮らすために奮闘する人たちの姿がありました。地域包括支援センターの活動とは？その背景にある想いとは？
賤機地域包括支援センター長の金森さんと、その運営を静岡市から受託する社会福祉法人楽寿会にお話を伺ってきました！



白鳥さん(80歳)と金森さん。5年前からの付き合いだそうで、やり取りを見ればその仲の良さは一目瞭然。

取材当日、金森さんがまず訪れたのは、「軒家で一人暮らしをする白鳥さん。」「遅いから心配したっけよ！」と満面の笑みで出迎えてくれました。
ここ葵区有東木には1日数本のバスしか通いません。そのため、病院に行くのも1日ばかりなのだそう。生まれるときからここにいる。生涯ずっとここにいたい」と茶畑を見ながら白鳥さんは言います。その言葉を受け、「私たち地域包括支援センターは、白鳥さんのような高齢者がずっと自宅で暮らすためにどうすべきかを考えて、自発的に行動する機関です。社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師(または看護師)の専門職がチームになり、地域にネットワークを張り巡らせることが仕事です」と金森さん。
金森さんによると、地域包括支援センターには4つの役割があるそうです。「1つ目は高齢者に関

楽寿会が受託する 地域包括支援センターをご紹介します♪

ここが私たちの
フィールドです！

楽寿会が静岡市から受託している地域包括支援センターは、美和・賤機・安倍の3箇所。
それぞれの圏域とスタッフの皆さんをご紹介します！
あなたも地域のネットワーク、内の大切な1人！いつでも気軽に立ち寄ってみましょう♪

あなたの「気づき」が
高齢者を守ります！

「あれ？おかしいな」という
ふとした「気づき」が問題解決の鍵です！
心当たりのある方は
すぐにご連絡を。

団地の
1部屋ごとを
知り尽くします！



静岡市葵区 美和地域包括支援センター

静岡市葵区与左衛門新田74-6
(楽寿の園高齢者総合福祉エリア内)
Tel/054-296-1100

〔圏域地域名〕
足久保奥組・足久保口組・安倍口新田・
安倍口団地・内牧・遠藤新田・幸庵新田・
藤兵衛新田・中ノ郷・西ヶ谷・
与左衛門新田

相談ごとには
すぐ行動！
がモットーです。



静岡市葵区 賤機地域包括支援センター

静岡市葵区昭府2-7-17 MAP ⑩ (P●)
Tel/054-251-7772

〔圏域地域名〕
秋山町・伊呂波町・籠上・上伝馬・桜町1～2丁目・下・
昭府1～2丁目・昭府町・新伝馬1～3丁目・辰起町・
堤町・福田ヶ谷・平和1～3丁目・松富1～4丁目・
松富上組・美川町・与一1～6丁目

センター長
金森さん



山間地も
お任せあれ♪

静岡市葵区 安倍地域包括支援センター

静岡市葵区俵沢38-1 MAP ⑩ (P●)
Tel/054-294-8400

〔圏域地域名〕
相淵・牛妻・有東木・梅ヶ島・大沢・
奥池ヶ谷・奥仙俣・落合・柿島・
門屋・上落合・桂山・口坂本・口仙俣・
郷島・腰越・内匠・俵沢・俵峰・津波野・
渡・長熊・中沢・長妻田・中平・入島・
野田平・平野・松野・森腰・油島・油野・
油山・横沢・横山・蕨野



センター長
太田さん

どんなことでも
ご相談は
お気軽に。



社会福祉法人 楽寿会 (楽寿の園 高齢者総合福祉エリア)

静岡市葵区与左衛門新田74-6 Tel/054-296-1111(代)

特別養護老人ホーム 楽寿の園
副園長 有馬万紀子さん

※今年の4月に安倍地域包括支援センターが新規設置されたことにより、それぞれのセンターが受け持つ圏域が一部変更になりました。

行動力と勇気の源。

実は引込み思案だと言う金森さん。この行動力と勇気はどこから湧いてくるのでしょうか？「お話ししており地域包括支援は、高齢者の暮らしの中に『介護予防』『生活支援』があり、専門職による『医療・看護』『介護・リハビリテーション』『保健・福祉』が協力することで効果を発揮します。私はこのケアマネジメントの礎、ケアパッケージを開発した有馬良建理事長に長年教育を受けてきました。その誇りが心の支えです」と話してくれました。そこで次は、社会福祉法人楽寿

会の有馬理事長を訪ねてみることにしました。

歴史の中に宿る想い。

「金森のような人材が育ち、地域福祉の第1線で活躍していることを心から嬉しく思います。私の長年の願いが現実のものになっていくと強く感じていますよ」と有馬理事長。聞けば、平成2年の老人福祉法大改正前は在宅福祉よりも高齢者を施設に入所させることが優先されていた時代だったそうです。「しかし私たちは、高齢者のほとんどが自宅で最期を迎えたいと思っていることを知っていま



地域包括支援に情熱を注ぐ真剣な表情と、時折垣間見える飾らない笑顔から人柄が窺えます。カメラを向けると、「写真は苦手」と恥ずかし気に笑う金森さん。



社会福祉法人楽寿会 有馬理事長(元静岡福祉大学 社会福祉学部 教授)。高齢者の尊厳を守ることを使命とする、介護福祉の先駆者的存在。「するーかの大ファンだよ」と快く取材を受けてくれました。

著書である「言葉づかいチェックリスト」「虐待防止チェックリスト」で高齢者の尊厳を守るための基礎を徹底的に育んでいることを以前も紹介させてもらいました(5月号参照)。「楽寿会は創設43年間にわたり、施設福祉と在宅福祉の有機的・一体的な連携を図り、地域ボランティアや開業医等の社会資源とも協力し、エイジング・インプリゼイション(住み慣れた地域でその人らしく最後まで生活する)の実現を目指して先駆的に実践してきました。地域包括支援センターにはこの経験を十二分に活かし、地域にあるあらゆる社会資源を総動員してネットワー

ク化を進めていただきたい。地域高齢者をサポートするシステムの構築により、静岡市が目指す地域包括ケアシステムを国の制度に沿って具体化させること。楽寿会が受託する美和・賤機・安倍の各地域包括支援センターの職員は、ケアパッケージを全国に先駆け取り組んだ楽寿会の職員として、誇りと情熱を持って活躍することを期待しています。金森からも常々、「新規職員は楽寿会の教育を徹底的に仕込んでから送り込んでください!」と言われてい

るんですよ(笑)。楽寿会が背中は目の前のフィールドに思い切った飛び込んでいけるのでしょうか。今年4月に安倍地域包括支援センターが設置されたことで、賤機・美和地域包括支援センターの圏域の一部が変更されました。これに対して金森さんは「美和包括の圏域の一部を賤機包括が引き継ぐことになりました。新しい地域の地域性を私自身で発見・体感しながら知っていきたいです。美和包括が築いたネットワークをさらに強くなるために頑張ります」と意気込みます。私たちが自分の愛する地域ですと暮らしていくために奔走する、金森さんたちの活動を応援したい!と強く思う取材でした。